

令和2年5月末日

契約者各位

Prince-King 株式会社
代表取締役
井手 広司

半期報告書

日経225助言メールサービス

令和2年10月1日～令和2年3月31日までの期間における半期報告書を作成いたしました。

1、当該期間の状況について

当該期間は10月から1月にかけてじわじわと上昇を続けましたが、年始早々イランによるアメリカ基地へのミサイル発射により、一時的な下落がみられ相場が乱れました。この間アメリカ市場は史上最高値を更新し、これに伴い日経平均株価も24000円の大台を達成しました。しかしながら、昨今のコロナウイルス感染拡大により、2月中旬より強い下落相場となりました。

2、当該期間の日経225助言メールサービスについて

当該期間の日経225助言メールサービスの状況は、1月6日の一時的な強い下落を受け、相場状況を的確に判断できたにも関わらず、変動幅が想定外に大幅になったため、利益の確保に繋がらなかったことから、利益確定損益率1.5%または2.5%へと変更を行いました。さらに、昨今のコロナショックにおけるデイセッション終値とナイトセッション始値の乖離が大きいこと、価格の変動幅が大きいことから、逆指値、OCO注文によるリスクヘッジが足枷となっているため、状況に応じた決済注文へと移行しました。

メール送信状況は、見送りメール5回のメールを含め10回の助言メールを発信いたしました。

当該期間中の累計損益率は、-2.2%となっており、上昇トレンドであったにもかかわらず、損切ラインに達してしまっただけで、累計損益率の低下につながりました。最終年間損益率は0.6%となりました。

(注) 累計損益率とは、各取引による取引実績を単純合計したものであり、運用資産の利回りを表示したものではありません。算定基準とした価格は、メール送信時の日本取引所グループ発表

の価格をもとに算定しております。

また、当該期の運用成績に関しましては、運用分析能力の向上と、2018年2月13日に運用変更した、複数枚数発注による「半数OCO注文利用」が有効に作用したものと考えております。

3、今後の運用に関して

大きい価格変動に対応した損切範囲の改正により、さらなるリスクヘッジを行ってまいります。また、データの分析から、より一層精度の高い新規注文のタイミングを検討しております。最適の投資判断をお届けすべく、リアルな投資方法の研鑽を重ね、今後さらなる利益追求をしてまいります。

引き続き「日経225助言サービス」にご期待ください。

以上

※金融商品取引業者の表示

登録 投資助言業 九州財務局長（金商）第12号

商号 Prince-King 株式会社

加入 一般社団法人 日本投資顧問業協会

手数料等 プレミアム会員 入会金0円、月会費20,000円

他のPKクラブ会員 入会金0円、月会費25,000円

一般 入会金45,000円 初年度月会費45,000円（次年度以降35,000円）

※金額はすべて税別表示。別途消費税が必要です。